

# 内装板撤去補強工の作業手順書

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準備・朝礼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業打合せ(KY活動)</li> <li>・規制及び作業状況等の確認</li> <li>・作業箇所の確認</li> <li>・使用車両の選定</li> <li>・作業時の防護用の規制材準備</li> <li>・業務用プレートの確認</li> <li>・保護具の確認</li> <li>・使用機械器具の点検</li> <li>・積荷の確認、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全打ち合せ書により行う</li> <li>・作業員全員の周知徹底</li> <li>・各班ごと、作業員全員に周知する</li> <li>・運行前点検を確実に行う</li> <li>・車両安全停止装置、ピカボン等</li> <li>・使用可能区間の確認</li> <li>・ヘルメット、安全靴、蛍光チョッキ、保護めがね、防塵マスク等</li> <li>・必要な道具類の確認</li> <li>・飛散防止</li> </ul>
車線規制内への移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業車の回送</li> <li>・工事用車両入口から、誘導員の合図により進入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定速度、車間距離</li> <li>・ハザードから方向指示器への切り替え</li> </ul>
現場内準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護資材を適切に配置する</li> <li>・作業箇所周辺の火災感知器の養生</li> <li>・ビデ足場の確実な組み立て、固定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護車の離隔距離(60m)</li> <li>・ハンドル切り、車止めの徹底</li> </ul>
内装板撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部フレームの固定ボルトを撤去し、外す</li> <li>・ブラスドライバー、インパクトドライバーにてステンレスピースの小ねじを緩め取り外す</li> <li>・内装板を取り外す</li> <li>・残りの胴縁、アンカーを撤去する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足場上での作業は、安全帯を使用する</li> <li>・足場上での道具、撤去材の落下に注意</li> <li>・ディスクグラインダー使用時、防炎シートで被い、火花を防ぐ</li> <li>・ケーブルが邪魔で撤去ができないときは固定金具を取り付ける</li> <li>・足場から内装板を投げ下ろさないこととする</li> <li>・サンダー使用時はキックバックに注意し、状況に応じた防護衣を着用する。</li> </ul>
発生材積み込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食し、散らばった鋼材を清掃する</li> <li>・内装板、鋼材をトラックに積み込む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水溝内を詰まらせないよう、清掃する</li> <li>・走行車線側(一般通行車側)にむやみに出ない</li> <li>・積み荷の固定、飛散防止を行う</li> <li>・内装板は石綿を含有するため、車両のシート養生は2重とする</li> </ul>
固定金具取付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付箇所を決定後、径18mmのドリルでトンネル壁面を56mm削孔する</li> <li>・削孔後、スポイト等で孔内を清掃する</li> <li>・アンカーをハンマーおよび打込棒で50mm打設する</li> <li>・胴縁金具に全ネジボルトを通し、インパクトで固定する</li> <li>・ボルトナットの上に緩み止めスプリングを取付ける</li> <li>・径8mmのドリルで内装板を穿孔し、孔内を清掃してからナイロンアンカーを挿入する。</li> <li>・ナイロンアンカーのビスをインパクトで締め付け、内装板と固定金具を接続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリルにてテープ等で56mmの目印をつけておく</li> <li>・トンネル壁面との距離があり、全ネジボルトM100を使用できないときは、M200を使用する</li> </ul>
現場離脱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場内の片付け、積み荷の確認</li> <li>・火災感知器の養生の撤去</li> <li>・交通誘導員との退出方法の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れものはないか、最終確認をする</li> <li>・外し忘れのないよう、最終確認をする</li> <li>・必ず、交通誘導員の合図により、規制内から退出する</li> </ul>
発生材、仮置き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り外した内装板、鋼材を仮置き場におろす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生材ごと分別して整然と並べる</li> <li>・クレーン作業前に外れ留め、玉掛用ロープの点検を行う</li> <li>・クレーン使用時は、有資格者により行い、監視員を配置する</li> </ul>
終礼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリ、ハットの抽出</li> <li>・業務プレートの確認、返納</li> </ul>